

「みんなが主役のまちづくり」

表佐まちづくり協議会

会長 桑原 良樹



絆を辞書で調べると「断つことのできない人と人との結びつき」とあります。しかし3年に亘るコロナ禍で、地域ふれあい事業の自粛や中止が相次ぎ、人と人との結びつきや地域の繋がりが希薄になっていきます。

子どもの頃は両親をはじめ、学校の先生や郷土の人々にお世話になり、絆を強く感じられた。それが成長するに従い、自己に目覚め、自分で何でもできるような錯覚に陥り、優しさと思いやりと助け合いの絆が段々薄くなっていった。しかし歳を経るに従い、自己主張の強い年代を過ぎ、今度は絆を求めるようになる。人生の一考察です。

そのような中、令和5年度はまちづくりの原点であります「絆を

深め、地域の連携を強くする」を意識して、事業をどの様に進めていくか良く検討し、様々なニーズ、変化に柔軟に対応してまいります。種々の事業を通して、「住んでよかった、いつまでも住み続けたい」と実感できるまちにしたいと思えます。

いつもお願いしておりますが、「あなたの参加がまちづくり」「みんなが主役の共生のまちづくり」です。

皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。